

シルバー北見

140号
2023.6

■令和5年6月26日発行 ■(公社)北見市シルバー人材センター広報委員会 〒090-0836 北見市東三輪5丁目1-16 ☎0157-23-6000



SLお目見え・救急救命講習

写真 広報委員

●会員登録数

単位：人

	3 月			4 月			5 月		
	入 会	退 会	月末現在	入 会	退 会	月末現在	入 会	退 会	月末現在
男	2	1	549	24	64	509	1	2	508
女	0	0	179	7	26	160	2	0	162
計	2	1	728	31	90	669	3	2	670

働くよろこび、社会参加の輪を広げよう

令和5年度 シルバー 定時総会を開催

事業の普及と就業機会や 会員の拡大など原案どおり承認

去る5月30日(火)、(公社)北見市シルバー人材センターの定時総会が北見芸術文化ホールで開催されました。

感染度5類に移行されたコロナウイルスですが、北見市でも若干の感染が発生しています。本年度の定時総会は変わらぬ感染防止策を継続し、106名の出席者がありました。会員総数669名中、出席者及び委任状

提出者合わせ、613名で総会は成立となりました。

まず、総会に先立って物故者に対し黙祷が捧げられ、続いて永年継続者表彰が行われました。その後、大矢根理事長の挨拶があり、続いて副市長・職業安定所長から祝辞をいただきました。祝電披露の後、議長に藤野健一氏が選ばれ、議事が進行されました。

議案に沿って、中寛良常務理事から令和4年度事業報告、並びに令和5年度の事業計画の説明があり、また、大武利章総務課長からは令和4年度の収支決算報告及び、令和5年度の収支予算案の説明がありました。事業計画の中では、基本方針として、①事業の普及啓発と就



総会司会の南保稔課長



議長を務めた藤野健一氏(11地区5班)



祝電披露をする箕島久美子主任

業機会の拡大 ②会員拡大と知識・技術・技能の向上 ③組織の運営強化と地区班活動の充実 ④安全就業の徹底と事故防止 ⑤長期就業是正と適正就業の遵守など、12の重点目標が示されました。



総会に参加した皆さん



理事長ほか役員の方皆さん

質疑応答では、活発な質問や意見が出され、十分な審議の上、満場の拍手ですべての議案が承認可決されました。

令和5年度定時総会

大矢根理事長が挨拶

4億2800万円の

事業実績を確保

会員の皆様には日頃より当センターの事業運営にあたり、ご支援とご協力をいただきありがとうございますことに心よりお礼を申し上げます。

さて、ただ今、永年継続会員として表彰をされました29名の会員の皆様おめでとうございました。10年間の長きにわたり地域社会づくりに貢献され、当センターの発展に大きくご尽力されましたことに、心からお祝いと感謝を申し上げます。今後とも、健康に十分留意され、私ども後



挨拶をする大矢根理事長

輩にご指導をいただきながら、生涯現役を目指してご活躍されることをご祈念申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが全世界に広まっていまだに拡大を続けております。今年になって減少傾向にあり、今月初めから規制が緩和されましたが、当市においては、いまだに毎週20人前後の発生が続いております。今後、当面の間は今まで同様の、感染対応をしていただくことをお願いいたします。

また世界情勢では一昨年2月にロシアがウクライナに一方的に軍事侵攻し早2年以上が経過しました。報道で危惧されている最悪の状況に至る前に戦争が終結し、ウクライナが早期に復興・再生することを心から願うものです。

さて、当センターの事業実績

につきましては、昨年はコロナ対策による公共施設の閉鎖等もなく、また台風や長雨、災害などもなく春先から平年並みの就業となり、冬場の除雪につきましては3回の出勤となりましたが、結果として受注実績は派遣事業を含め総額では4億2800万円となり前年度より160万円増の決算となりました。

会員数につきましては、令和3年度末764人に対しまして令和4年度末は728人と36人減少しました。このことは一昨年の「改正高齢者雇用安定法」が施行され、高齢者の雇用延長によりシルバー入会に影響を与えているものと判断しております。会員の確保なくしての就業拡大は難しいことから、会員拡大に向けての対応を引き続き進めてまいります。

また本年10月よりインボイス制度がスタートし、従前除外対象とされていたシルバーの就業においても段階的に消費税の納

付が義務付けされます。シルバーの配分金は北海道の最低賃金制度に沿った単価としておりますことから、消費税の発生によって皆さんの受け取る配分金が減少することのないよう対応してまいります。

全国的に受注額・会員数が減少を続けている中、当センターは、安定した事業実績を維持しております。これは常日頃より役員をはじめ会員の皆さんの親切丁寧な仕事ぶりが市民の皆様信頼され認められている結果であり、皆様には心よりお礼を申し上げます。

会員の皆様には、働く喜びと生きがい作り、また、地域の担い手、社会の担い手として、今後とも社会参加を続けていただきたいと思います。

結びにあたりまして、皆様のですますのご健勝と北見市シルバー人材センターの、ますますの発展を祈念申し上げます。

令和4年度 事業報告

コロナ禍中でも受注額増を達成

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の世界的な全国的規模での拡大とともに、感染対策に翻弄された1年となりました。今年度に入り、感染者数の減少に伴い、様々な緩和措置が取られコロナ前の日常生活が戻りました。また、少子高齢化による労働力不足の影響もあり、70歳までの就業確保が努力義務となる高齢者就業確保措置の施行に伴い、雇用延長する企業が増え、働き続ける高齢者が増加したことなどから、シルバー



事業報告をする中常務理事

会員の確保にかかる周辺環境は依然として厳しい状況にあります。当センターの会員数については、全国的に減少傾向が続く中、本年3月末時点で728人となり、前年度対比で36人減り3年連続の減少となりました。このような状況の中で、当センターの事業実績については、コロナ禍当初に比べ持ち直しの兆しが見られたものの、経済活動の先行き不透明感から抜け切れず、一般企業の受注契約の見



収支報告をする大武総務課長

直しや見合わせ、公共事業の縮小などがありました。令和4年度の受注金額は請負と派遣を併せて4億2,842万2千円となり、前年度対比で160万円の微増となりました。

当センターでは、令和4年度は基本事業方針と長期実施計画に基づき、重点的な取り組み事項としては、会員確保と就業機会の拡大、安全就業の推進と適正就業の確立、会員を取り巻く環境整備、事業運営のさらなる基盤整備に努めてまいりました。

また、会員と役員が一体となつて事業の推進を図るとともに、北見市をはじめ、各関係機関・団体、市民の皆様のご支援とご協力のもと、着実にセンターの社会的役割と責任を果たしてきました。

今後直面する課題解決に向けて、北見地方の特性に合わせた就業の掘り起こしや女性会員の入会促進を強化し、働く意欲を持つ会員に結び付けていくことが重要と考えます。

北見シルバー人材センター令和4年度事業実績表 (定時総会資料から)

		令和4年度	令和3年度	増	減
登録会員数 (人)		728	764		▲36
受注件数 (件)		6,496	6,459		37
就業延日人員数 (人日)		69,115	70,450		▲1,335
契約金額 (円)		請負分 398,892,469	請負分 396,698,813	2,193,656	
		派遣分 29,529,493	派遣分 30,120,755	▲591,262	
		計 428,421,962	計 426,819,568	1,602,394	
請負分内訳	配分金	351,437,278	351,581,859	▲144,581	
	事務費	33,657,128	32,440,370	1,216,758	
	原材料費	13,798,063	12,676,584	1,121,479	

令和5年度 事業計画

積極的なPRRでさらなる事業の進展を

全国シルバー事業協会では、平成30年度から7年間で会員数を100万人に引き上げる『会員100万人達成計画』を策定し、会員拡大に取り組んで参りましたが、5年前から減少に転じ、現在70万人を割る状況となっております。

その要因としては、高齢者雇用制度の改正による定年延長制や再雇用制度の導入、また、生活のための収入を重視するというシルバー離れがあり、そうした状況において新型コロナの感染拡大が追い打ちをかけたと言えます。

こうした会員減少に歯止めがかからない状況の中で、当センターにおいても会員確保は喫緊の課題と重く受け止め、従来通りの対策はもとより、更なる会員増強に向けた取り組みが重要と考えます。

また、当センターが設立されて本年度で37年目を迎え、シルバー会員の高齢化が懸念されており、新規入会の会員が伸び悩み中、加齢や体力低下による退会者が後を絶ちません。このことは、全国、全道的な共通課題です。

こうした状況を踏まえ、特に女性や企業退職者を新たに会員として迎えるためには、働きやすい環境づくり、魅力ある就業の開拓等、さまざまな課題解決にしっかりと取り組んでいかなければなりません。

人生百年時代を迎える中で、働くことのできる高齢者の受け皿として当センターに求められている役割は今後も重要となっております。各関係機関、団体や道連とも緊密な連携を図りながら、目的達成のために事業を展開して参ります。

当センターといたしましては、

令和5年度事業目標

- ① 会員数・・・814名
- ② 就業率・・・84.0%
- ③ 契約金額（請負）
4億2000万円
- ④ 契約金額（派遣）
3000万円

引き続き官公署をはじめ一般企業及び市民からも幅広く認知と支持をいただきながら、会員の真摯で丁寧な責任ある仕事により着実に進展を続けて行くとともに、日頃の市民への感謝をこめて実施している会員、役職員一丸となつての奉仕活動やボランティア活動、さらに市民や企業への周知・PR事業を今年度も積極的に実施します。

互助会総会を開く 米寿のお祝いを授賞

シルバー定時総会の終了に続き、互助会の定期総会が開かれました。互助会では米寿会員にお祝い金を授賞する条項があり

この度、次の4名の方が受賞されました。

- 3地区3班 表 常雄さん
- 3地区2班 長谷川祐洋さん
- 9地区1班 加藤 隆さん
- 5地区1班 鈴木美恵子さん

この日は、鈴木美恵子さんが出席され、十河会長よりお祝い金を手渡されました。その後は詫間敏晴氏が議長に選出され総会が始まりました。数年、コロナ禍で中止していた10月の「研修旅行会」や1月の「研修交流会」が実施できることを期待し、各議案が審議され承認されました。



お祝いを受賞する鈴木美恵子さん

おめでとうございます

令和5年度 永年継続会員の表彰行われる



理事長から表彰を受ける永年継続会員

令和5年度の永年継続者表彰が先般の定時総会の冒頭行われました。

今般29名の会員の方々が表彰され、出席された8名の皆さんは大矢根洋哉理事長から表彰状と記念品を受け取りました。受賞者の皆さんは10年もの間、様々な場面で卓越した技量で市民に喜ばれ、信頼されてシルバー人材センターに貢献されてきました。これからも、益々健康でご活躍ください。

永年継続表彰の皆さん

(敬称略)

1地区1班	林 鐵雄	9地区1班	高倉 眞一
1地区2班	佐藤美代子	9地区4班	佐藤 健二
2地区3班	丹羽 清治	9地区4班	金子 覚
3地区1班	中山 智明	10地区2班	今井 健司
3地区1班	茂内 信義	10地区2班	黒澤 猛
4地区1班	東雲 一好	10地区2班	新飯田俊男
4地区4班	斉藤 茂春	10地区4班	伏木 秀幸
5地区2班	加賀谷 巡	12地区1班	詫間 敏晴
5地区2班	安藤 薫	12地区3班	松田 慶子
6地区1班	三角 福次	12地区5班	大原 保弘
7地区1班	濱中 正直	13地区2班	根本 勝之
7地区2班	横田 功	13地区2班	鈴木 敏文
7地区3班	米田 富雄	13地区2班	大場 信行
7地区5班	阿部 優子	13地区2班	大場由美子
8地区3班	栗原 徳行		

令和5年度 地区長・班長会議を開催
班長(49名)に委嘱状
 今年度の地区班活動を確認

令和5年度のシルバー地区長・班長会議が、去る4月6日(木)サンライフ北見で開催されました。

会議に先立って今年度の班長さん49名(新任13名)に、大矢根理事長から委嘱状が交付されました。

会議では令和5年度の各活動



大矢根理事長から委嘱状を受け取る会員さん

事項(奉仕活動など)や、地区長・班長の役割を中心に説明が行われました。また今後の会議日程なども伝達されました。

特に、センター恒例の奉仕活動は、来る6月25日(日)に実施予定で、『昨年以上の多くの会員の方々が参加されるよう期待している』との話がありました。



互助会幹事会で挨拶する十河会長

更に、この4月から最低賃金改定に伴い、シルバーの配分金の基準が変更になり、時間当たり概ね30円UPになる。また交通費についても20円UPになる

北見仁頃書道会が
 30周年作品展を開く

去る3月下旬、北見仁頃書道会(会長藤野健一氏)が創立30周年を記念して作品展をNHKギャラリーで開催しました。同会は平成5年に仁頃高校開放講座として始まり、書道を通じた地域おこしを掲げて活動しています。会場には昨年亡くなられた初代会長の米森孝作氏の遺作をはじめ37



藤野健一さん

との説明がありました。一方、地区長・班長会議終了後令和5年度のシルバー互助会・幹事会が開催されました。

点の作品が展示されました。会長の藤野健一氏は北見シルバーの会員さんです。藤野さんは平成22年4月に縁あって、仁頃書道会に入会し、その後、令和元年4月から会長を務め現在に至る活躍を続けています。



書道展の作品から

お客様から
感謝のお手紙を
いただきました!!

3月下旬、北見市内のあるお客様から当センターに一通の手紙が届きました。内容は引越し作業を手伝ってもらった会員お二人とセンターへの感謝の気持ちを綴ったものです。

お礼の手紙をいただく事はなかなか有ることはありません。会員の皆さんが信頼されている一端を垣間見たような気がします。

この引越し作業の担当にあつたのは、黒田政男さんと吉野正浩さんです。お二人の丁寧な仕事ぶりに感銘を受けたことが記されています。一部をご紹介します。

『私は3月7日に、引越のお手伝いをお願いした者です。直前の発注であったにもかかわらず、引越し作業に慣れた方々に来ていただき、ありがとうございます。体力的にもこの位やってくれば良いかなと勝手にイメージしていました。』

黒田さん吉野さんは、作業に慣れていいるからと偉ぶる事もなく素人の私たちを馬鹿にすることもありませんでした。作業中は一生懸命荷物を運んでいただき、逆にこちらが煽られるような早いペースでした。

この引越はただの転勤などとは違い、私の人生の転機となるような出来事でしたので、自分にとって楽しく幸せな記念すべき引越でした。そのうれしい引越を明るく元気に協力して頂き本当にありがたかったです。

無理はなさらずに、少しでも長く多くの方のお役に立てるようお体をくれぐれもご自愛くださいと存じます。また、この様な素晴らしいお二人をご紹介しますら貴センター様には、あらためて感謝申し上げます。今後も何かあればまたお願いしたいと存じます。まずはお礼まで。』

(原文を一部省略し短くしました)
丁寧な仕事ぶりとお客様の喜びようが伝わってきます。大変お疲れさまでした。



シルバーの独自事業
土を活性化する好評の
腐葉土が今年も
たくさん売れました

恒例の、「腐葉土の販売」が4月22日(土)朝9時よりサンライフ北見車庫前で行われました。

この日は、強風で時より雨まじりのあいにくの天候でしたが、販売開始まもなく5〜6人の方が10袋、20袋と買い求めていました。20袋を購入した方に使い道を聞いたところ「ここの腐葉土を使うと土壌が活性化して野菜の成長に



列をなすお客様



ありがとうございました

大変良い」とのことでした。

原料の落ち葉は、主に市内の公園清掃作業の業者から秋口にもらい受けて堆積します。更に米ぬかや発酵剤など入れて熟成させます。約2年の歳月を要すること。その後、乾燥・小枝除去・細断・袋詰め工程を経て完成ですが大変な作業です。

客足が途絶える時もありましたが、12時の終了までには約240袋を販売しました。まだ在庫もあり通年で販売しています。

事務局や腐葉土を製造した皆さんで販売にあたりました。お疲れさまでした。



一袋 450円

令和5年度

『救急救命講習会』開催される

日常生活の安全をめざして！



3月16日、23日の両日、コロナ禍のため、3年もの間実施できなかった「救急救命講習会」が開催された。

講師には、西消防署の職員前中氏を迎え、2日共に定員を超える会員の参加を得て実施された。

会は、朝9時、中事務局長の挨拶で始まった。

「3年間実施できなかった講習会を、北見消防署の協力により実施できることになりました。この3月中旬から、マスクの着用も個人の自由となり、5月から病気の扱いも「5類」に移行されます。今回は、施設管理やプール管理の担当者が対象となっておりますが、仕事の上ばかりでなく、日常の暮らしの中でもぜひ活用してほしいと思います。」

続いて、講師から自己紹介と北見市の119番通報についての話があった。

「私は、普段救急車に乗って仕



講師の話を聞いて、胸骨圧迫の実施

事をしていきます。今年でもう7年になります。北見市における救急車の出動は、年に7千件にも及び、その中でも呼吸や心臓が止まったという出動は200件近くもあります。そんな場合、有効なのが「心肺蘇生法」です。たとえ、のどが詰まって呼吸が止まっても、いち早く救命の措置を行うことで『命』を救うことができます。」

熱心に話を聞く会員からは、「北見には、緊急に出動できる救急車は何台あるのか。」

「どこにでもあるAEDも、日常から点検されているのか。」

「救急車が、全部出払った場合、どうなるのか。」

などの質問が次々に出ていた。

休憩をはさみながら、『G(ガイドライン)2020』にそった実施訓練も行われた。

【心肺蘇生法の流れ】

- ① 反応の確認・応援を呼ぶ
 - ② 119番通報・AEDの手配
 - ③ 呼吸をみる
 - ④ 胸骨圧迫
 - ⑤ 気道確保・人工呼吸(2回)
 - ⑥ 胸骨圧迫と人工呼吸の繰返し
- 【AEDが到着したら】
- ① AEDの電源を入れる
 - ② パッドを装着する
 - ③ 電気ショックの判断
 - ④ 心肺蘇生法とAEDの繰返し

この一連の救命の流れを、3人一組になって練習を行っていた。会員の中には、北見消防署のOBや防災協会の役員もおり今回の講師の補助役もかつて出た。

最後に、「反応がない場合は、『心肺蘇生法』をつづけること」

「AEDの使い方は、AEDの蓋を開らくとAEDの音声で説明してくれるので、落ち着いてそれに従うこと」などを確認し、講習は修了した。

救急救命講習会は、月に一度、消防署でも開催しており、だれでも参加できるという。

誰もがいつ命の危険にさらされるかわからない。他人の命を助けるためというよりも、多くの人が蘇生法を知っていることで、自分の命を守る事にもなると、改めて学習することができた。



連携プレーで実技を体験

ふるさと納税返礼品で

「お墓の清掃サービス」をご案内

2008年に創設された「ふるさと納税」は、上限を決められた金額を全国の任意の市町村に寄付すると、その地域の特産品や旅行・店舗で使える優待券などが返礼品として送られてきます。また所得税や住民税の控除も受けられる仕組みとなっています。

ふるさと納税の寄付金が地域に活力を与えることから、こぞって返礼品の過熱が見られた時期もありましたが、現在は寄付金の



約三分と位置付けられています。

北見市も多数の返礼品がありますが、その中に当センターが行っている『お墓の清掃サービス』が採用されています。

依頼者から、寄付によるお墓の清掃サービスを申し込みたいという連絡が当センターに入り、現地確認などを経て北見市と連携を取りながら手続きや清掃を行うものです。

料金は6000円で、これからの時期、利用を希望されるかたがいらっしやると思います。何かの時の話題にご紹介ください。

※当シルバー人材センターでは通常も、依頼者から『お墓掃除』を引き受けています。

SL機関車お目見え・石北大通公園SL広場

春一番も過ぎて強風が出始めた4月13日(木)、北進町のSL広場で3両の蒸気機関車の保護シート外しがありました。8時過ぎには機関車の上に人の姿があり、シルバー会員10名がすでに作業に取り掛かっておりました。

曇り空で時折り突風がおこる寒い日でしたが、市の担当者や事務局の橋本主任と連携しながら次々と作業を進めていきました。

会員の皆さんは経験者が多く、声を掛け合いながら実に手際よくシートを外し、畳んで丸めていきました。『一丸となる』とはこういうことなんだなと感じ入るほどです。これらは軽トラに積んでシルバーの倉庫に保管しておいて後日、天気の良い日に日干しすること。また橋本主任が撮っていた写真は作業終了後に

市へ報告書と一緒に送るそうです。

展示車両は他に南仲町の三治公園と留辺蘂町にあり、5月にはグリスの注入や塗装補修、周りの草取り清掃をします。機関車は旧国鉄時代からの廃車に伴い、保守管理を条件に借り受け、展示しているとのことでした。

まもなく先頭のC58蒸気機関車が現れようとする時、待ち構えていた新聞記者のカメラが色々な角度から撮り始めました。会員の皆さんは昼抜きで三治公園も終わらすとのこと：お疲れさまです。



要領よく作業していきます

会員のひろば

懐かしいあのころ

思い出の味 VI

進 敬 (2地区3班)

16〜18歳

(昭和32〜35年頃)

昭和32年4月、北見北斗高校に入学した。当時兄が管内で有名な陸上の中距離選手だったので、その弟も走れると思われ陸上部にスカウトされた。入学後練習に明け暮れた。当時1500メートルや興味のあった棒高跳びの練習をしたが、才覚があるとは思っていなかった。6時近く帰宅する頃は、腹ペコ状態で定時制の食堂によくお邪魔した。メニューは一杯15円のラーメンのみで、麺とネギだけの塩味だが、空腹に染み渡り、素朴な味は今でも懐かしく思い出に残っている。陸上部は足の故障と本人の意志の弱さで3カ月で

退部してしまった。

高2になり、先輩のおもしろ感じられなくなり、高校生活を楽しむ毎日であった。その当時はやっていたのが早弁(持参の弁当を10時ごろまでに食べてしまうこと)だった。

親友と授業中に最前列で早弁ができるか、昼飯のパンをかけることにした。2時間目K先生の英語の授業時に実行した。事前に弁当のふたを開けて置き、先生が英文を読み、黒板にチョークでスペルを書いているときに箸で一口パクリ、後は下向き教科書で口をかくし、静かに噛み飲み込む、その繰り返しで弁当の九割がたを完食した。大好きな塩鮭の弁当だったが味は殆んどしなかった。ドキドキしながら食べるのは味がない。味のない思い出の味となった。かに勝ったので、お昼にはデラックスのメロンパンをせしめた。その味の美味しかったこと。早弁とは雲泥の差だった。最後に教師となったとき、最前

列の生徒は教師の目線の死角になるのだとつくづく思ったし、常に注意して指導にあたった。

高3の時、秋の学校祭の取り組みに受験を控えている面々が勉強を投げ出し、全員が一つになって学級発表や仮装行列の出し物に取り組んだ。



仮装行列の山車は「たぬきばやし」の大狸と決定した。大した設計図もなく、各家庭からの持ち寄りの材料で高さ4・5mの大狸を校舎前の庭で、放課後遅くまで取り組み2週間ほどで造り上げた。仮装行列前日、男子全員が前庭にあった図書館に泊まり込んだ。その時の夕食時に女子が握り飯の差し入れをしてくれた。その塩むすびのおいしかったことが懐かしの味として思い出される。



仮装行列の大狸

夜には一部の者がパチンコ店の店員さんと交渉し、景品の煙草やお酒を調達し小宴会をした者がいた。そのことを全員で守り抜き口外しなかったが、国立一期試験の後に発覚して大問題になった。しかし、全員受験後であること等で不問となった。その時の担任の先生は責任を取らされ転任となったと聞いたが、本当のところは、教頭として紋別の高校に栄転したのだった。宿泊参加者の7割は東大や北大等の国立大学、東京6大学の有名私立大に合格したのはよかった。



二人には

シルバー事務局です



ておりましたが、そのまま今年、定年退職を迎えました。退職後について地元留辺薬で勤め先を探るか、多くの人と知り合えた北見かを考え、

(公社) 北見市シルバー人材センター
業務課主幹 後藤 誠児

コロナ禍となり丸3年が過ぎた今年4月、北見市シルバー人材センターに採用され、業務課に配属となりました。3ヶ月経ちますが、解らないことばかりで毎日戸惑っています。そんな中でも、会員皆様の培ってきた技能や経験、知識の豊富さに驚くとともに、何より元気さとパワーに脱帽です。

私は留辺薬生まれ留辺薬育ちで、留辺薬町役場に就職しましたので、このまま留辺薬で生きて行くものと思っておりましたが、平成18年3月に1市3町の合併により北見市職員となりました。平成23年4月からは北見市本庁勤務となり、毎日通勤をして

自分は人との出会いや繋がりを大事にしたいとの思いもあり、様々な経験を持った会員がいるこのシルバー人材センターを希望しました。少子高齢化社会は全国的な課題となつていますが、当センターは全国的な課題数や受注実績など、道内でも上位にあり、市民にも広く浸透しています。

それは会員の皆様が依頼者の要望や期待に応え信頼を得たことにより、継続的な業務を生むとともに、皆様の健康や意欲向上にも繋がっていると感じます。

私は、まだ依頼者のことや会員皆様のこととも分からないまま業務に追われている毎日ですが、一日も早く皆様に安心してもらえるよう努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

編集後記

♪ 花が咲く 花が咲く どこに咲く
山に咲く 里に咲く 野にも咲く ♪

今年の桜の開花は例年より早く、あつという間に散り、現在は唱歌「春が来た」の2番の歌詞がピッタリの色とりどりの花が見ごろの季節になった。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5月8日から「5類」へ移行された。政府は外出自粛要請やマスクの着用など感染対策を緩和した。報道ではコロナの第9波の流行は「起こる可能性が高く、第8波より大きな規模になる可能性もある」、「死亡リスクの高い高齢者や基礎疾患がある人への対策は継続する必要がある」と訴えていた。

定時総会も無事終え令和5年度の事業計画も確定し、年々組織が前進している。会員の活動の牽引者としての立場で、広報編集委員会も、年4回の『シルバー北見』の充実をめざし頑張る所存です。会員皆様方のご意見やご寄稿、写真等お待ちしております。